



国土交通省

NEWS RELEASE

国土交通省 近畿運輸局

問い合わせ先

(所属) 海事振興部船員労政課

(担当) 田中

(電話) 06-6949-6435

令和8年8月10日

～ 内航船員の確保・育成対策 ～

工業高校の生徒及び教諭を対象に

海技大学校の練習船「海技丸」船内見学及び校内見学会
を実施しました！

内航海運は、日本経済を支える重要な産業ですが、船員の確保・育成が喫緊の課題となっています。そこで、近畿運輸局と各海運組合事務局およびその傘下会員事業者を構成員とする近畿内航船員対策協議会では、若年船員の確保に向けて各種の事業を実施しています。

とりわけ機関部の船員不足が顕著となっていることを受け、今般、神戸運輸監理部や海事広報協会などとともに、工業高校の生徒及び教諭を対象に、機関部船員への興味・関心を持っていただけるよう、海技大学校の協力を得て練習船「海技丸」の船内見学及び校内見学会を実施しましたので、お知らせいたします。

実施日： 令和8年7月30日（木） 10時00分～15時00分

場 所： 海技大学校（兵庫県芦屋市）

参加者： 工業高校の生徒及び教諭 計 8名

【主なカリキュラム】

- 船内見学会 練習船「海技丸」
- 校内見学会 操船シミュレータ体験、配電盤シミュレータ体験、船用大型ディーゼル機関取扱体験

主催： 近畿運輸局、神戸運輸監理部、近畿内航船員対策協議会、
神戸地区内航船員確保対策協議会、（公社）近畿海事広報協会、
（公社）神戸海事広報協会

協力： 海技大学校



「C to Sea プロジェクト」
海と船がもっと楽しく身近になる情報発信中！！

海と船のポータルサイト「海ココ」開設 →



配布先：海運関係業界プレス

工業高校の生徒及び教諭を対象に 海技大学校練習船「海技丸」の船内見学及び校内見学会 を実施しました！

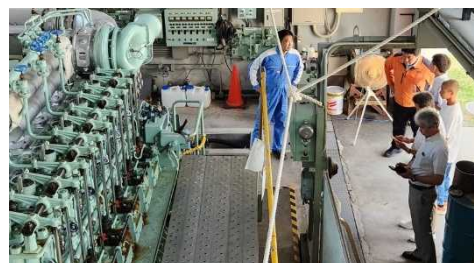
近畿運輸局、神戸運輸監理部、近畿内航船員対策協議会（会長：林 一男 田渕海運(株)取締役）、神戸地区内航船員確保対策協議会、近畿海事広報協会、神戸海事広報協会は、令和8年7月30日（木）に、海技大学校の協力を得て、練習船「海技丸（かいぎまる）」の船内見学と校内見学会を開催しました。

本企画は、内航海運業界において特に不足が顕著な機関部船員の確保・育成を目的として、工業高校の生徒及び教諭を対象に、内航海運の全体像や船員教育機関への進学の流れを紹介するなど、内航船員を職業選択肢の一つとしてもらうことを目的として実施しています。当日は、大阪府、兵庫県、奈良県の工業高校の生徒等8名（生徒6名、教諭2名）が参加しました。



午前の部では、2班に分かれて海技大学校の校内見学会とし、「操船シミュレータ体験」、「配電盤シミュレータ体験」、「船用大型ディーゼル機関取扱体験」を行いました。「操船シミュレータ体験」では、明石海峡を航行する船舶での体験をしましたが、昼間の晴天だけではなく、夜間や雨天時など

視界の悪い状況での体験も行いました。「配電盤シミュレータ体験」では、船舶に設置された発電機のシステム操作やメンテナンスの方法について海技大学校の教員から説明を受け、停電の復旧方法について体験しました。「船用大型ディーゼル機関取扱体験」では、船のエンジンの仕組みについて説明を受け、エンジンの始動の手順などを体験しました。参加者は、はじめて目にするシミュレータ等を前に高い関心を持ったようで、海技大学校の教員に積極的に質問をしたり、班員同士でコミュニケーションをとりながら、細部に至るまで見学していました。



午後の部では、全員で練習船「海技丸」に移動し、最初に船長から海技丸に関する説明を受け、その後は2班に分かれて甲板部と機関部を交互に船内見学を実施しました。

甲板部の見学では、船員の居住スペースである船室や、普段は入ることができない船橋（ブリッジ）、デッキから見えるさまざまな船舶についての解説を受けました。また、機関部の見学では船を動かすには何が必要かなど質問形式で機関の説明が行われ、自動車のエンジンには知識のある工業高校生も悩みながらも答えを導いていました。その後は機関室に入ってディーゼル機関を間近で見て説明を受けるなど参加者は理解を深めていました。



見学会終了後のアンケート結果において、生徒からは「船についてたくさんを知ることが出来た」、「はじめて見る機械がたくさんあり貴重な体験が出来た」などの回答があり、生徒に海や船に興味を持ってもらえたと思います。

また、他の回答では、「船員は給料が良く、休暇もまとめてとれるのが魅力的」「高校卒業後や社会人を経験してからでも船舶免許を取得する方法があることを知れて良かった」など、船員という職業自体に前向きな印象を抱いた生徒も多く、船員を職業の選択肢として考えるきっかけになったものと思われます。また、教諭の方からは、「生徒達に船員という職業をPRして興味を持たせたいと思う」「船員という職業の良さがわかった」との評価をいただきました。

近畿運輸局、神戸運輸監理部、近畿内航船員対策協議会、神戸地区内航船員確保対策協議会、近畿海事広報協会及び神戸海事広報協会では、内航船員の確保・育成を推進していくため、工業高校生への働きかけも含め、今後も引き続き活動を行っていきたいと考えています。

(近畿運輸局 海事振興部 船員労政課)